

総務文教常任委員長報告（案）

（R4. 9. 28）

総務文教常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、第1号議案、令和4年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）の本委員会所管分ではありますが、その主な内容といたしまして、

総務費では、朝日放送グループホールディングスとの連携協定を活用し、積極的にメディアプロモーションを展開するための、広報経費の増額補正、

地方財政法の規定に基づき、令和3年度決算剰余金^{じょうよきん}の一部を財政調整基金に積み立てるための、財産管理経費の増額補正、

教育費では、既存の教室^{つうきゅう}を通級指導教室として修繕し、学習環境の整備を図るための、教育相談経費の増額補正、

スポーツによるまちの活性化を推進するために、（仮称）京都・亀岡バルーンフェスティバルの開催を支援する経費として、生涯スポーツ振興経費の増額補正であります。

また、債務負担行為^{さいむふたん}については、計画的な事務執行を進めるため、^{ていそう}送送業務経費について、設定されるものであります。

採決の結果は、全員をもって可決すべきものと決定しました。

なお、指摘要望事項として、（仮称）京都・亀岡バルーンフェスティバル事

業については、実行委員会任せにすることなく、市として主導的に運営にあたるとともに、安全面に最大限注意し、関係部局と連携して、にぎわいの創出に取り組むこと、事業の経過について議会に報告すること、また、今後のイベントの実施に当たり、かめおかまるごとスタジアム構想を理由に早急な企画をすることなく、予算編成を含め計画的な立案を行うこと、を指摘要望するものです。

次に、第6号議案、令和4年度亀岡市神前^{こうざき}財産区特別会計補正予算（第1号）は、宮前町神前^{みやざき こうざき}地内の認定外道路の改修に伴う繰出金の増額補正であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第7号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部改正は、職員の育児休業の取得要件を緩和するものであり、

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第8号議案 亀岡市議会議員及び亀岡市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正は、選挙運動用ビラ^{ほんぷ}の頒布について、その作成費用を公費負担とすること等を定めようとするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第9号議案 亀岡市立小学校設置条例等の一部改正は、学校規模適正化基本方針に基づき、育親中学校ブロックにおいて、本梅小学校、畑野小学校、青野小学校及び育親中学校を閉校し、新たに育親学園を義務教育学校として設置しようとするものであります。採決に先立ち、小中一貫校の良さは全国的になくなってきており、意義が感じられない、また、少人数でも地域に学校を残すことが大切である、との反対討論がありました。

採決の結果は、賛成多数をもって可決すべきものと決定しました。

次に、第52号議案 ^{へんち} 辺地総合整備計画の策定及び変更は、東別院町及び西別院町における令和4年に係る計画策定及び変更として、スクールバスの導入により、通学の利便性向上を図るものであり、

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告といたします。

○「バレーンフェス」で地域活性化

一般会計補正予算(第3号)可決(全員賛成)

・生涯スポーツ振興経費 1千万円増

バレーン(熱気球)

競技があるのを御存じでしょうか。亀岡市では、スポーツによるまちづくりとして、バレーン競技大会とフェスティバル(物販・飲食スペース、搭乗体験など)を来年2月に開催予定。

【指摘要望事項】

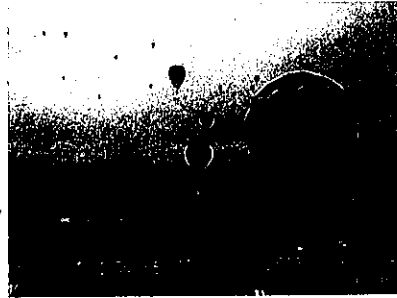
実行委員会任せにせず、市として主導的に

○新たな義務教育学校がスタート

亀岡市立小学校設置条例等の一部を改正する条例の制定
可決(賛成多数)

育親中学校ブロックにおいて、本梅小学校、畑野小学校、青野小学

運営に当たり、安全面に最大限注意し、関係部局と連携してにぎわいの創出に取り組むこと、事業の経過について議会に報告することなど、常任委員会から要望した。



他市大会の様子

校及び育親中学校を閉校し、新たに育親学園を義務教育学校として設置する。令和6年4月に開校予定。

亀岡市では、亀岡川東学園に続き、2校目の義務教育学校となる。